

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立玉江小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】「情報活用能力の育成」学習支援ソフトの活用系統表の作成

【作成した系統表】

児童に情報活用能力を育成するためには、まず職員の情報活用能力を高めることが必要と考え、校内研修において、学習支援ソフトの各学年における活用能力系統表を作成し、全職員で共通理解・共通実践を行った。

さらに、実践内容の報告会を行い、情報共有を行った。

そうすることで、職員のタブレット使用率が高まり、系統表に沿った児童の情報活用能力の高まりがみられた。

○各学年における学習支援ソフト活用能力系統表

学 年	学習支援ソフト活用の目安
1 年生	○ノート作成 ○写真撮影・動画撮影 ○テキストカード（手書きで） ○カードの提出
2 年生	○写真カードに書き込み ○アンケートの回答 ○テストの解答 ○カード送信（教師へ）
3 年生	○共有ノート使用・編集 ○ネット検索 ○カードを用いた発表
4 年生	○児童間送信 ○プレゼン作成と発表 ○アンケートの作成 ○シンキングツールで意見分類
5 年生	○動画の長さ編集 ○カードに音声入力 ○PDF で出力（入力） ○ファイルカードの作成 ○カード in カード
6 年生	○話し合いに学習支援ソフトを用いる ○視認性の高いプレゼン作成とタブレットの特徴を生かした発表

※参考「ICT 活用コアスキル」北九州市教育委員会、草牟田小の教育課程